

令和3年度 第1回 焼津市地域公共交通会議
【説明資料】

令和3年5月26日（水）

建設部道路課

報告事項

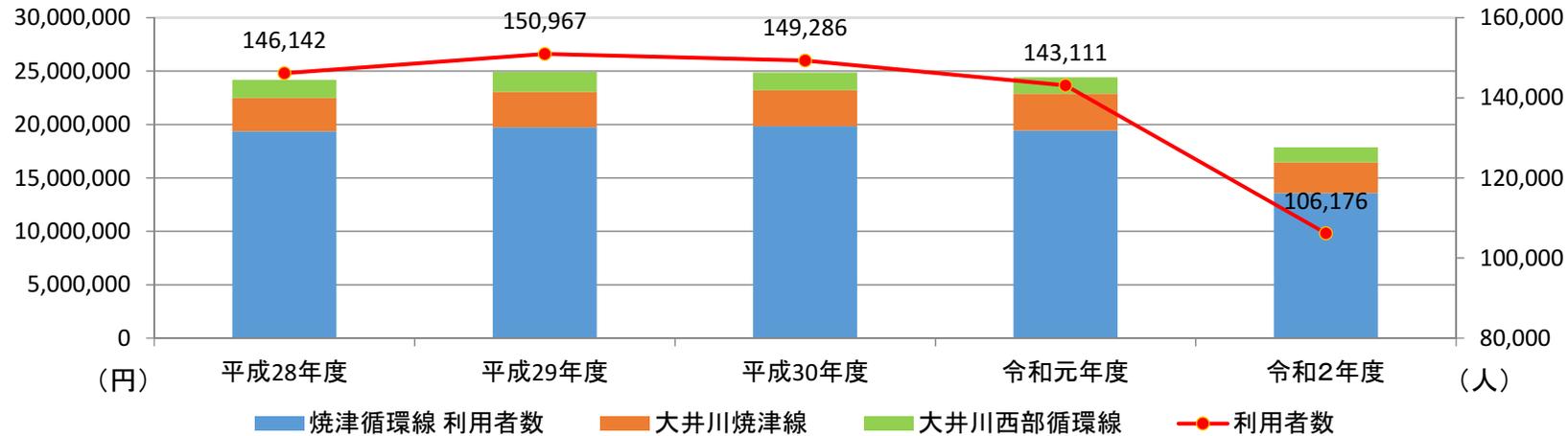
- (1) 市内バス路線の利用状況等について
(自主運行バス・路線バス)

- (2) 焼津インターチェンジ周辺地域
デマンド型乗合タクシー試験運行の状況について

(1) 自主運行バスの状況

① 利用状況の推移

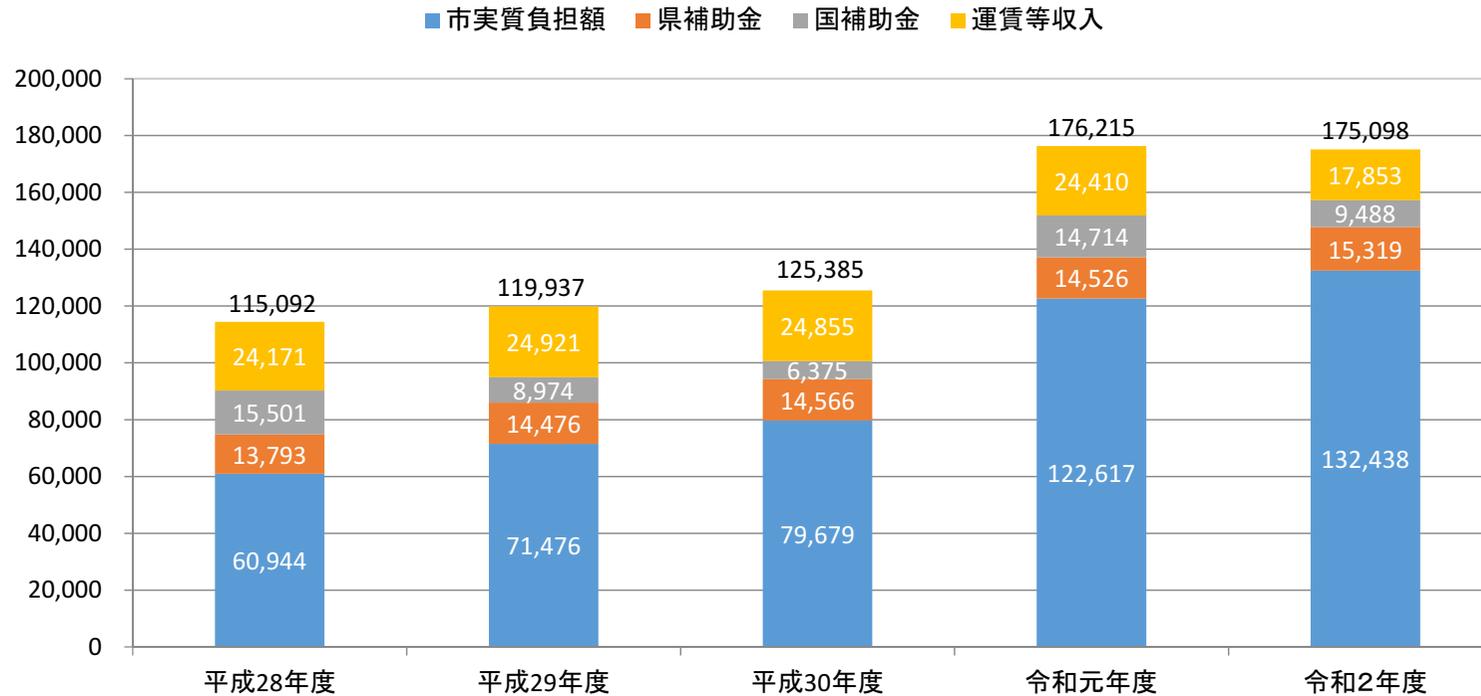
自主運行バスの利用状況の推移



		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
焼津循環線	利用者数	118,877人	121,746人	120,934人	116,020人	82,345人
	運賃等収入	19,353,737円	19,733,445円	19,831,474円	19,435,291円	13,584,150円
大井川焼津線	利用者数	16,944人	17,743人	17,713人	17,484人	15,023人
	運賃等収入	3,129,423円	3,316,650円	3,367,277円	3,446,971円	2,879,157円
大井川西部循環線	利用者数	10,321人	11,478人	10,639人	9,607人	8,808人
	運賃等収入	1,688,292円	1,870,790円	1,656,221円	1,525,821円	1,389,909円
合計	利用者数	146,142人	150,967人	149,286人	143,111人	106,176人
	運賃等収入	24,171,452円	24,920,885円	24,854,972円	24,408,083円	17,853,216円

- 全体としてはほぼ横ばいで推移してきたが、新型コロナウイルス感染症による影響により、利用者数、運賃収入が大きく減少した。焼津循環線が3割程度減少したのに比べ、大井川焼津線、大井川西部循環線は、1割程度の減少にとどまった。

② 運行経費等の推移

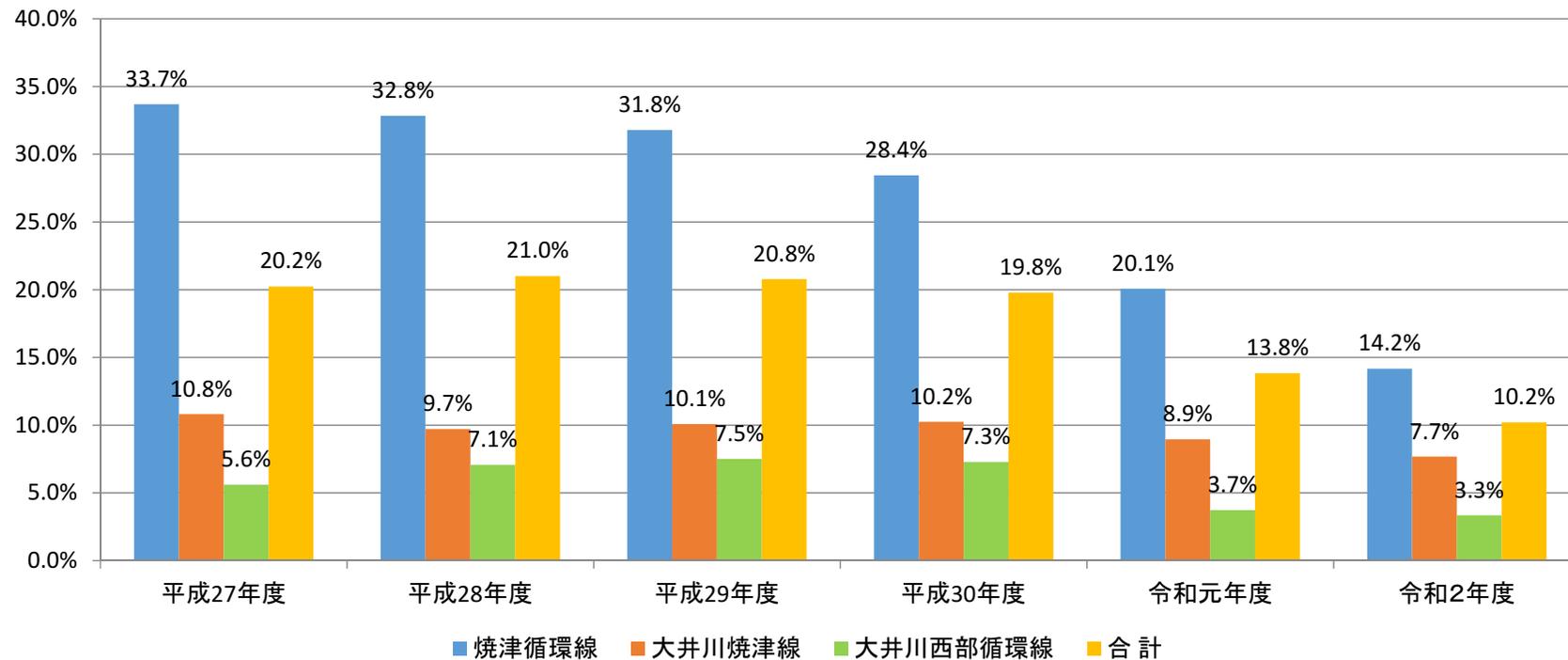


- 運行事業者における車庫の移転に伴う回送距離の増加、運転手不足対策による人件費の増加、燃料費の上昇などの要因により、令和元年度から運行に必要な経費が増加している。
- 経費が増加している反面、国及び県からの補助金、運賃収入とも横ばいとなっていることから市実質負担額も増加している。

(1) 自主運行バスの状況

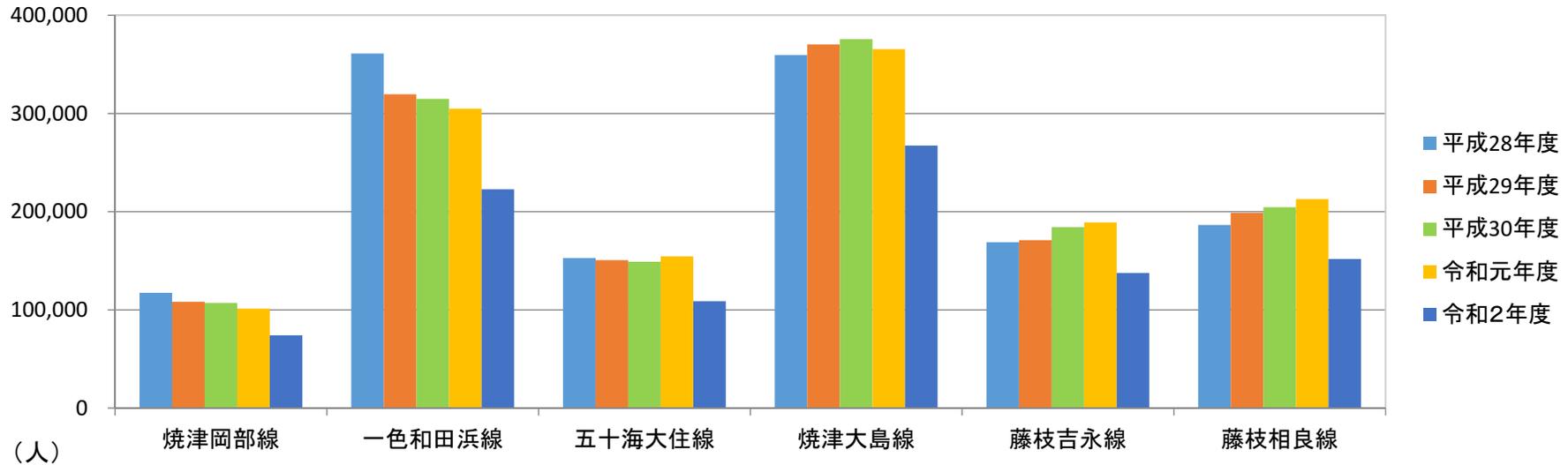
③ 収支率の推移

自主運行バスの収支率の推移



- 運行経費は年々増加しているが、利用状況に応じた運行内容の変更により、平成30年までは収支率20%前後を保ちながら推移してきた。
- 令和元年度以降は運行経費の上昇により、結果として収支率は低下している。

① 利用者数の推移

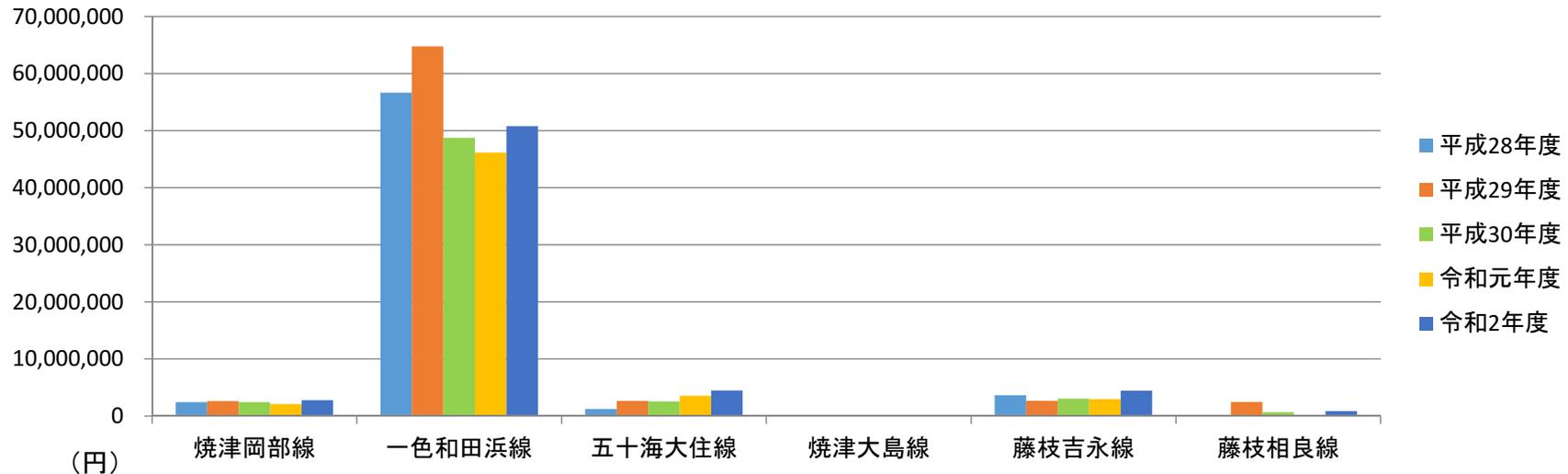


※しずてつジャストライン(株)報告値

【前年度比較】	令和元年度	令和2年度	増減	(%)
焼津岡部線	100,364人	73,994人	-27,296	(-26.9%)
一色和田浜線	301,851人	222,763人	-82,120	(-26.9%)
五十海大住線	153,430人	108,700人	-45,775	(-29.6%)
焼津大島線	362,538人	267,266人	-98,154	(-26.9%)
藤枝吉永線	187,621人	137,540人	-51,426	(-27.2%)
藤枝相良線	211,739人	151,706人	-61,018	(-28.7%)
合計	1,317,543人	961,969人	-365,789	(-27.5%)

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により、6路線とも前年度と比べ、3割弱の減少となっている。
- ・特別ダイヤによる減便が実施されたが、徐々に復便している状況である。

② 市補助額の推移



【前年度比較】	令和元年度	令和2年度	増減
焼津岡部線	2,089,866円	2,751,370円	661,504円
一色和田浜線	46,149,702円	50,789,325円	4,639,623円
五十海大住線	3,522,109円	4,461,904円	939,795円
焼津大島線	0円	0円	-
藤枝吉永線	2,932,916円	4,446,764円	1,513,848円
藤枝相良線	0円	827,182円	827,182円
合計	54,694,593円	63,276,545円	8,581,952円

・令和2年度の市補助額は、全体的に増加した。路線バスの運行経費は上昇傾向にある中で、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少は続いており、路線の維持を図るため、支援を継続するとともに、今後も更なる収支改善策の協議・検討が必要である。

報告事項

- (1) 市内バス路線の利用状況等について
(自主運行バス・路線バス)

- (2) 焼津インターチェンジ周辺地域
デマンド型乗合タクシー試験運行の状況について

(2) 焼津インターチェンジ周辺地域 デマンド型乗合タクシー試験運行の状況

これまでの地域協議会との取組状況及び試験運行の状況

平成30年5月に地域からの要請を受け、市の公共交通の現状説明と意見交換を実施し、同年11月に「地域の交通手段推進協議会」が立ち上がり、延べ18回の会合を開催し、同協議会、タクシー協会、市の三者により運行内容の検討を重ねている。

実施事項	年月日	内容	参加者
第14回会合	令和2年7月21日	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況の報告 試験運行の延長 	地域、タクシー協会、市
第15回会合	令和2年10月8日	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況の報告 公共交通会議での協議内容について 時刻表の改善と配布について 今後の運行について 	地域、タクシー協会、市
第16回会合	令和3年1月19日	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況の報告 本格運行への判断基準について 	地域、市
第17回会合	令和3年3月15日	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況等の報告 乗降場所の変更、試験運行期間延長の周知について 今後のスケジュールについて 	地域、タクシー協会、市
第18回会合	令和3年5月13日	<ul style="list-style-type: none"> 利用状況の報告 今後のスケジュールについて 	地域、市

利用者登録の状況

(4/30現在)

対象世帯数	登録世帯数	対象人数	登録人数
708世帯	131世帯	1,700人	292人

※登録世帯数…提出された登録用紙の数
※対象人数…対象世帯数に市平均世帯人員を乗じて算出

(2) 焼津インターチェンジ周辺地域 デマンド型乗合タクシー試験運行の状況

利用の状況

集計期間	令和元年6月～令和3年4月（23か月間）		
利用人数①	482人	乗合率（①／②）	1.22人／台
運行台数②	394台	1日当たり運行台数（②／④）	0.70台／日
運行日数③	244日	稼働率（③／④）	43.4%
運行対象日数④	562日	実利用者数	44人

経費と収入

運行経費	802,572 円
運賃収入	170,050 円
運行委託料	632,522 円
1人1回当たり 公費負担	1,312 円
収支率 (収入/経費)	21.2 %

月別利用人数

	R1	R2		R1	R2
4月		3人	10月	15人	17人
5月		4人	11月	12人	26人
6月	29人	18人	12月	31人	25人
7月	30人	16人	1月	15人	29人
8月	23人	12人	2月	22人	39人
9月	24人	17人	3月	3人	34人
			合計	204人	240人

協議事項

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンドタクシーの
本格運行について

(2) 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）
について

本格運行の判断

試験運行の利用状況

(令和元年6月～令和3年3月末まで)



「本格運行への判断評価基準」による達成状況の評価

運行が持続可能かどうか、地域の方々に必要とされているかの判断基準

評価の視点は、乗合率・収支率・費用効率・必要性・利用者満足度・主体性の6項目



- 本格運行への移行
- 試験運行の継続
- 廃止の検討

達成状況により判断

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について

試験運行の内容

	項目	内容
1	実施目的	焼津市地域公共交通網形成計画に基づき、本市におけるデマンド型乗合タクシーの導入の参考とするため、公共交通空白地域である焼津 I C 周辺地域において試験運行を実施し、同計画における目標値の達成状況を踏まえ、当該地域における導入の検討を行う。
2	利用対象者	対象地域にお住まいの方 ※事前登録制 (R3.4月末現在: 292名)
3	実施期間	令和元年6月～
4	運行区域	焼津インターチェンジ周辺地域及び焼津駅等指定施設
5	乗降場所、行き先	乗降場所: 対象地域内10箇所※R3.4から自宅での乗降開始 行き先: 焼津駅、商業施設、病院、公民館など11箇所
6	運行日	月、火、水、木、金、土 ※日・祝は運休
7	運行時刻	行き: 9便/日、帰り9便/日
8	車両	セダン型タクシー (4人まで利用可能)
9	運賃	焼津駅: 500円 その他: 300円 ※乗り合いの場合、100円割引 ※小学校就学前の幼児は無料 ※小学生、身体障害者手帳等所持者及びその介護者は半額

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について

1. 利用状況 令和3年3月末日現在

利用登録者数	292人 (対象エリア推定人口1,700人の約17%)				
利用人数	444人	実利用者数	42名 (利用登録者数の約14%)		
運行台数	363台	運行日数	227日	運行対象日数	537日
乗合率 (利用人数/運行台数)	1.22人/台	主な行き先	焼津駅 (183人)、大村公民館 (126人)、甲賀病院 (82人)		

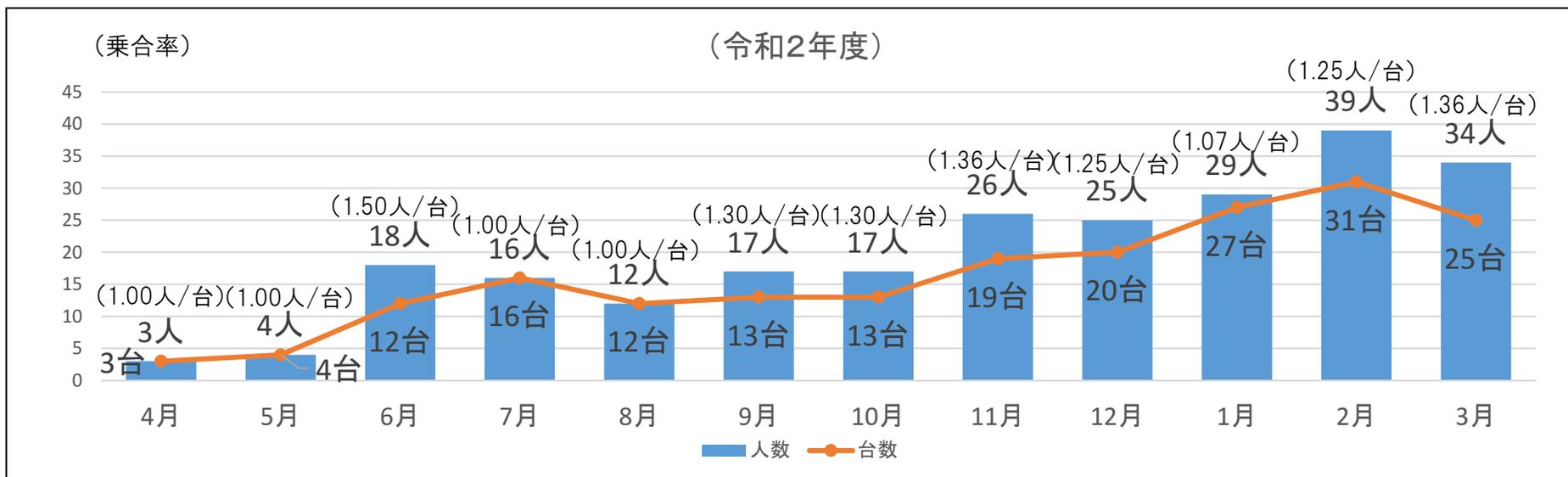
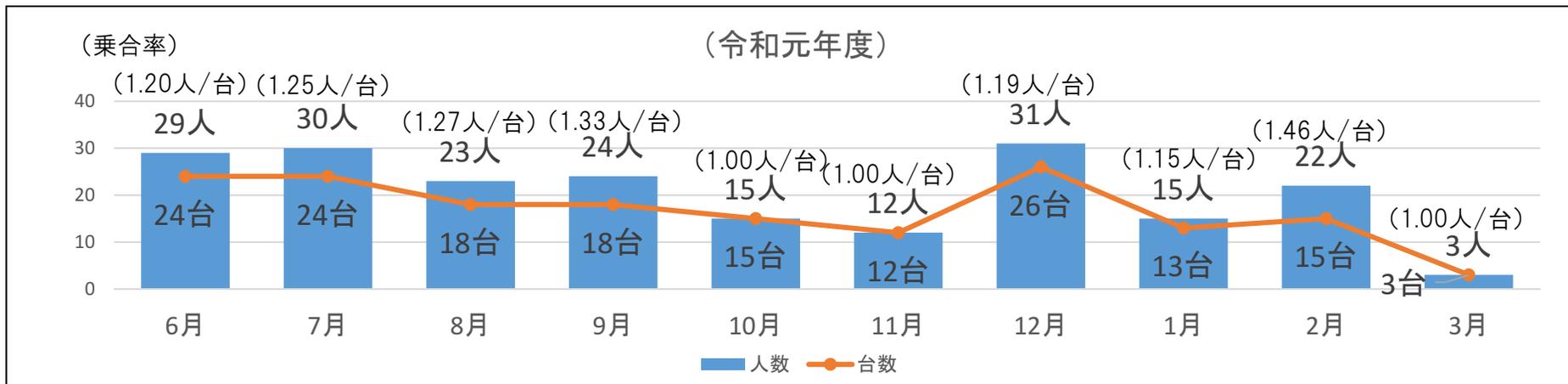
2. 収支状況 令和3年3月末日現在

運行経費	745,563円
運賃収入	155,850円
運行委託料	589,713円
収支率(収入/経費)	20.9%
1人1回当たり公費負担	1,328円

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について

利用の状況

月別利用状況



(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について

利用の状況（続き）

乗降場所・指定施設別利用状況

乗降場所	人数	指定施設	人数
大覚寺1	0人	かわさきクリニック	0人
大覚寺2	0人	さかなセンター	0人
大覚寺3	0人	富士屋東名店	7人
越後島団地	33人	八楠郵便局	3人
越後島1	178人	甲賀病院	82人
越後島2	18人	ピアゴ	9人
越後島3	13人	大覚寺公会堂	0人
越後島公会堂	179人	大村公民館	126人
八楠	0人	総合福社会館	7人
坂本	23人	JA大井川大村支店	27人
		焼津駅北口	183人
計	444人	計	444人

利用者の内訳

①性別 (人)

	男	女	計	
65歳未満	1	4	5	12%
65～75歳未満	7	5	12	29%
75歳以上	8	17	25	60%
計	16	26	42	

38% 62%

②一月当たり平均利用回数 (人)

	1～2回	3～4回	5～6回	7回以上	計
65歳未満	4	0	0	1	5
65～75歳未満	10	2	0	0	12
75歳以上	20	5	0	0	25
計	34	7	0	1	42

81% 17% 0% 2%

※利用のあった月の平均利用回数

※最多利用者（70代・女性）…のべ62回

- 乗降場所は越後島1・越後島公会堂の利用が多く、指定施設では焼津駅北口・甲賀病院・大村公民館が多く、これらの場所・施設で全体の約4分の3を占めた。
- 利用者は高齢な方ほど多くなり、また、平均利用回数は月1～2回が最も多かった。

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について

本格運行への判断評価基準

評価視点	評価指標	評価基準 (設定の根拠)	現状値		評価
			R3.3月	達成状況	
①乗合率	乗合率	1.1人/台以上 (県補助金対象要件)	1.22人/台	100%	A
②収支率	収支率	20%以上 (H30県平均値20.47%)	20.9%	100%	A
③費用効率	市負担額 _(1人1回)	1,400円以内 (H30県平均値1,396円)	1,328円	100%	A
④地域への必要性	高齢者登録数	30%以上 (高齢者登録数/高齢者人口)	38.8%	100%	A
⑤利用者満足度	利用者満足度	44%以上 (地域公共交通網形成計画の目標44%)	84.0%	100%	A
⑥地域の主体性	地域協議会開催数	4回/年以上 (3か月に1回)	5.6回/年	100%	A

評価方法—各評価基準の達成状況が100%はA評価、90～100%はB評価、90%未満はC評価

- ・C評価が1つ以下で、他がB評価以上であれば本格運行とする。
- ・B評価以下については改善策を講じる。
- ・C評価が2つ以上の場合は、試験運行を継続し、令和3年9月末の利用状況で再評価を行う。
- ・C評価が3つ以上の場合は、廃止を検討する。

➡ **本格運行とする (事務局案)**

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンド型乗合タクシー試験運行の本格運行について



今後のスケジュール (案)

	令和2年度					令和3年度										
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	
評価基準の設定	●															
評価対象 運行期間	■															
評価・判断							●									
試験運行	→															
運行準備 ・周知								■								
道路運送法 許可手続									■							
本格運行												→				

4 協議事項

(1) 焼津インターチェンジ周辺地域デマンドタクシーの

本格運行について

(2) 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）

について

(2) 生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統関係）について

国の補助事業「地域公共交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持費補助金）」の交付要綱に規定されている要件を満たす自主運行バス路線について、交付要綱に基づき、補助対象路線（系統）に係る確保維持改善計画を地域公共交通会議において策定する。

● 補助対象路線（系統）

路線名	主な系統
大井川焼津線	大井川庁舎～グランパ-前～焼津市立病院前～焼津駅前
大井川西部循環線	大井川庁舎～つつじ平団地～焼津市立病院前～大島中央公園～大井川庁舎 ⇒令和4年4月より「大井川地区デマンド型乗合タクシー」に移行を予定

● 主な補助要件

- ・ 国庫補助を受けている地域間幹線バス路線に接続していること
- ・ 新たに運行を開始する系統、または、継続して補助を受ける系統

● 補助対象期間

- ・ 補助年度の前年度10月1日から補助年度の9月30日まで

● 補助対象経費

- ・ 補助対象系統の経常費用と経常収益の差額（補助率：1/2）

